

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成24年6月21日(2012.6.21)

【公表番号】特表2011-522183(P2011-522183A)

【公表日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2011-030

【出願番号】特願2011-511685(P2011-511685)

【国際特許分類】

F 16 B 47/00 (2006.01)

【F I】

F 16 B 47/00 V

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月2日(2012.5.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

本出願では、以下の態様が提供される。

1. 物品を取付面に貼付する方法であって、前記物品に固着させた少なくとも1つの両面接着剤と、前記物品上に配置させた少なくとも1つの偏向可能なスペーサと、とを備える、前記物品を提供する工程と、前記偏向可能なスペーサの少なくとも1部分が前記取付面に接触するように、前記物品を配置する工程と、前記取付面上の望ましい場所に前記物品を置く工程と、前記スペーサが、前記両面接着剤と前記取付面との間の接触を許す、偏向状態に偏向されるように、かつ前記両面接着剤が、前記取付面に接触し、前記取付面に接着的に固着するように、前記物品を前記取付面に向けて移動させる工程、とを含む、方法。

2. 前記スペーサの前記偏向が、前記スペーサの少なくとも1部分を圧縮すること含む、態様1に記載の方法。

3. 前記スペーサの前記偏向が、前記スペーサを前記物品から取り外すことを含む、態様1に記載の方法。

4. 前記スペーサの前記偏向が、前記スペーサを少なくとも2個の部品に分解することを含む、態様1に記載の方法。

5. 前記偏向可能なスペーサが、前記物品に接着的に貼付される、態様1に記載の方法。

。

6. 前記偏向可能なスペーサが、前記物品に接続された取付板に機械的に貼付される、態様1に記載の方法。

7. 前記偏向可能なスペーサが、少なくとも1つの主本体と、前記主本体に接続された少なくとも2つの突出部とを備え、各突出部が、前記物品の前記取付板に接触する、アンダーカット機構を含み、前記スペーサが、ある偏向状態へ偏向することが、前記アンダーカット機構を前記取付板から解放して前記偏向可能なスペーサが前記取付板から取り外されるように、前記突出部を移動させるため、前記スペーサに力を適用することを含む、態様6に記載の方法。

8. 前記偏向可能なスペーサが、少なくとも1つの主本体と、脆弱線を備える接合体により前記主本体に各々接続される少なくとも2つの突出部と、を備え、各突出部が、前記物品の前記取付板に接触する、アンダーカット機構を含み、前記スペーサが、ある偏向状態へ偏向することが、前記アンダーカット機構を前記取付板から解放して前記偏向可能なスペーサが前記取付板から取り外されるように、前記突出部を移動させるため、前記スペーサに力を適用することを含む、態様6に記載の方法。

スペーサが前記取付板から取り外されるように、前記突出部を移動させるために、前記接合体を破断するため、前記スペーサに力を適用することを含む、態様 6 に記載の方法。

9 . 前記両面接着剤が、ストレッチ剥離接着剤を備える、態様 1 に記載の方法。

10 . 少なくとも 1 つの固着面を備える物品と；対面する第 1 及び第 2 の接着性主表面を有し、前記物品の前記固着面に接着的に固着されている第 1 の接着性表面を有する、少なくとも 1 つの両面接着剤と；前記物品に配置される少なくとも 1 つの偏向可能なスペーサであって、前記スペーサは、少なくとも第 1 の未偏向状態から第 2 の偏向状態に偏向可能であり、前記スペーサは、第 1 の未偏向の状態にあるときは、前記偏向可能なスペーザの少なくとも 1 部分が前記物品から外側に前記両面接着剤の第 2 の接着性主表面を越えて伸び、かつ前記スペーサは、第 2 の偏向状態にあるときは、前記偏向可能なスペーサのどの部分も前記物品から外側に前記両面接着剤の第 2 の接着性主表面を越えて伸びない、スペーサと；を備える、物品を取付面に貼付するための組立物品。

11 . 前記偏向可能なスペーサが、圧縮性フォーム、圧縮性不織布、圧縮性コイルばね、及び圧縮性板バネからなる群から選択される、態様 10 に記載の物品。

12 . 前記偏向可能なスペーサが、その第 1 の未偏向状態にあるとき、機械的に前記物品に貼付される、取り外し可能なクリップである、態様 10 に記載の物品。

13 . 前記偏向可能なスペーサが、その第 1 の未偏向状態にあるとき、機械的に前記物品に貼付される、破断可能クリップである、態様 10 に記載の物品。

14 . 前記偏向可能なスペーサが、少なくとも 1 本の脆弱線を備える、成形高分子材料を含む、態様 13 に記載の物品。

15 . 前記物品が、前記物品に接続され、前記物品の固着面を含んだ少なくとも 1 枚の取付板を備え、前記 1 片の両面接着剤が前記取付板の前記固着面に貼付され、並びに、第 1 の未偏向状態にあるときは、前記偏向可能なスペーサーが前記取付板に貼付される、態様 10 に記載の物品。

16 . 前記両面接着剤が、ストレッチ剥離接着剤である、態様 10 に記載の物品。

17 . 少なくとも 1 つの両面接着剤と；少なくとも 1 つの主本体、及び前記主本体に接続された少なくとも 2 つの突出部であって、各突出部がアンダーカット機構を含む、少なくとも 2 つの突出部、を備える少なくとも 1 つの高分子成形偏向可能スペーサと；を備える、物品を取付面に貼付するためのキット。

18 . 前記高分子成形偏向可能スペーサが、物品の取付板に機械的に貼付されるよう適合され、前記スペーサが、ある偏向状態へ偏向することが、前記アンダーカット機構を前記取付板から解放して前記偏向可能なスペーサが前記取付板から取り外されるように、前記突出部を移動させるため、前記スペーサに力を適用することを含む、態様 17 に記載のキット。

19 . 各突出部が、脆弱線を備える接合体により、前記偏向可能なスペーサの主本体に接続される、態様 17 に記載のキット。

20 . 前記高分子成形偏向可能スペーサが、物品の取付板に機械的に貼付されるよう適合され、前記スペーサが、ある偏向状態へ偏向することが、前記アンダーカット機構を前記取付板から解放して前記偏向可能なスペーサが前記取付板から取り外されるように、前記突出部を移動させるために、前記接合体を破断するように、前記スペーサに力を適用することを含む、態様 19 に記載のキット。

21 . 前記両面接着剤が、ストレッチ剥離接着剤である、態様 17 に記載のキット。

本発明の多数の実施形態を記載してきた。いずれにしても、本発明から逸脱することなく様々な修正を行ってもよいことが理解されるであろう。例えば、上述のアプローチの様々な組合せが可能であり、またある実施形態は特定の分類に適切に分かれ場合もあることが注記される。そのような変例及び組合せは全て、本発明家により、本考案の発明の範囲内にあるものとして想到される。すなわち、弾性変形、塑性変形、脆性破壊、及び／又はそのような加工のいかなる組合せの結果となる、材料及び幾何学的デザインのいかなる組合せも、望ましい偏向可能なスペーサが達成される限り、利用することができる。したがって、要約すると、変形性、圧縮性、柔軟性、粉碎性、破断性、取外し性、若しくは

これらの特性のうちいずれか又は全てを含んでもよい、様々な偏向可能なスペーサは、本考案の発明の範囲内にある。それゆえに、そのような実施形態は全て、以下の特許請求の範囲に含まれる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

物品を取付面に貼付する方法であって、

前記物品に固着させた少なくとも1つの両面接着剤と、

前記物品上に配置させた少なくとも1つの偏向可能なスペーサと、  
とを備える、前記物品を提供する工程と、

前記偏向可能なスペーサの少なくとも1部分が前記取付面に接触するように、前記物品を配置する工程と、

前記取付面上の望ましい場所に前記物品を置く工程と、

前記スペーサが、前記両面接着剤と前記取付面との間の接触を許す、偏向状態に偏向されるように、かつ前記両面接着剤が、前記取付面に接触し、前記取付面に接着的に固着するように、前記物品を前記取付面に向けて移動させる工程と  
を含む、方法。

【請求項2】

少なくとも1つの固着面を備える物品と；

対面する第1及び第2の接着性主表面を有し、前記物品の前記固着面に接着的に固着されている第1の接着性表面を有する、少なくとも1つの両面接着剤と；

前記物品に配置される少なくとも1つの偏向可能なスペーサであって、

前記スペーサは、少なくとも第1の未偏向状態から第2の偏向状態に偏向可能であり、

前記スペーサは、第1の未偏向の状態にあるときは、前記偏向可能なスペーサの少なくとも1部分が前記物品から外側に前記両面接着剤の第2の接着性主表面を越えて伸び、かつ

前記スペーサは、第2の偏向状態にあるときは、前記偏向可能なスペーサのどの部分も前記物品から外側に前記両面接着剤の第2の接着性主表面を越えて伸びない、スペーサと；

を備える、物品を取付面に貼付するための組立物品。

【請求項3】

少なくとも1つの両面接着剤と；

少なくとも1つの主本体、及び前記主本体に接続された少なくとも2つの突出部であって、各突出部がアンダーカット機構を含む、少なくとも2つの突出部、を備える少なくとも1つの高分子成形偏向可能スペーサと；

を備える、物品を取付面に貼付するためのキット。